

大きなハチの巣を発見

見た目の割にはとっても軽い

「82年生きてきて、こんなに大きい巣は初めて見た」と話す井手泰さん（七滝）。3月8日、親子二人で竹林のなか作業していたところ、地面から7～8メートル程の竹にハチの巣を発見。少しずつ竹を切り、直径約70センチ、円周約130センチの大型サイズのスズメバチの巣を採取しました。井手さんは「柔らかく崩れやすいため、どこに飾ろうか悩むが、めったにないものなので、記念に飾りたい」と笑顔で話しました。



笑顔で巣を持つ井手さん

卒業おめでとう

3年間共に学んだ仲間たちと新たな旅立ちを祝う

3月14日、街なかギャラリーで「御船中学校卒業を祝う会」が開催されました。祝う会では会食・歓談やじゃんけん大会、先生が制作したDVD上映などが行われ、3年生と保護者は笑顔で新しい門出を祝い合いました。卒業を祝うために、企画準備を行った保護者は「子どもたちには、将来、この場所でのことを思い出してもらいたい。子に幸せになってもらいたいのは親の願い。志高く生きてほしいです」と話しました。



指揮に合わせ全員合唱が行われました

健康と町の魅力を再発見！

健康いきいきウォーキング大会開催

3月21日、町スポーツセンターを発着点とした、ウォーキング大会が開催されました。フネッピーすこやかスポーツクラブ、町スポーツ推進委員協議会、スポーツセンターが主催。設けられた「御船先哲5人健脚コース（8キロ）」と「歴史散策コース（6キロ）」の2コースには、子どもから大人まで約120人が参加。町の歴史と魅力に触れながら、春の陽気の中を歩きました。ゴール後は、水越地域活性化協議会が準備した豚汁が振る舞われました。



役員に説明を受けながら歩く参加者たち

吉無田の春を満喫！

第3回春の吉無田高原フットパス

3月29日、吉無田高原自然親交会・愛郷吉無田活性化委員会主催の「春の吉無田高原フットパス」が開催されました。スタッフを含め60人が参加し、野草・樹木の説明を受けながら、ツゲやヒノキの森など、約3.7キロのコースを散策しました。散策後は吉無田で採れた山菜の天ぷらや猪肉を食べて交流しました。合志市から参加した久川照子さん・置田良枝さんは「初めて参加したが、吉無田の自然を感じることができ、とても素晴らしい企画だった。今後も是非続けてほしいです」と話しました。



吉無田の風を感じながら草原を歩く参加者たち

春は御船でひな祭り♪

恐竜博物館交流ギャラリーで開催

3月1日、恐竜博物館交流ギャラリーで、「春は御船でひな祭り」のイベントが開催され、フルート演奏や陶芸教室、町内の飲食店など13店による軽食や雑貨の販売が行われました。町おひな様実行委員会が主催して、今年で12回目。ほかにも、明治時代のひな人形や手作りのひな人形などが飾られた、町内の参加店11カ所を巡るスタンプラリーも2月14日から3月3日まで行われました。



交流ギャラリーで行われたフルート演奏



カトリアと合唱する6年生

6年生最後のコンサート

木倉小学校でひな祭りコンサート

3月3日、木倉小（大脇為久校長、121人）でひなまつりコンサートが開催され、保護者や地域住民など約50人が参加しました。コンサートの企画から運営、招待状の作成まで、全て卒業する6年生25人が担当。コンサートは、合唱や演奏、地元合唱団カトリアとの合唱など3部構成で開催。江藤隆稀くんは「親にも楽しんでもらえてよかったです。カトリアさんとのコラボは一生の思い出になりました」と笑顔で話しました。

手作りの素晴らしさ

カルチャースクール

3月10日、町カルチャーセンター大会議室で、カルチャースクール（町主催）の作品展示会と閉講式が行われました。講座は手芸・絵画・童謡・癒しのアロマセラピー・手編み教室の5つがあり、式では各講座の代表者が1年間で学んだ成果を披露し、皆勤賞の22人には、町から賞状と記念品が贈られました。ロビーでは5日間、手芸・絵画・手編み教室で作られた約80点の作品が展示されました。



作品を紹介する、受講者の矢壁カズエさん（木倉・90歳）



御船童謡教室「ほほえみ」による合唱

第18回御船町カルチャーセンター音楽祭

郡内の音楽愛好者が集結

3月8日、町カルチャーセンターホールで、郡内の音楽愛好者が集う「音楽祭」が開催されました。町カルチャーセンター音楽祭実行委員会が主催し18回目。上益城郡内から9団体が参加（御船6団体）し、特別ゲストに熊本シティ・オペラ協会の佐久間伸一さん、福岡由記さん、尾上奈奈さん、高藪義則さん、渡辺ゆみこさんを招いて、盛大に行われました。会場には美しい歌声や力強い演奏が響き渡り、会場は拍手に包まれました。